



会社案内 2021-2022

CORPORATE PROFILE

しあわせいかつ。



株式会社マルエツ

〒170-8401 東京都豊島区東池袋5-51-12
<https://www.maruetsu.co.jp/>



2021年8月発行



この会社案内は、FSC® 認証紙を使用し、植物油インクで印刷しています。



はじめまして、 私たちはマルエツです。

「食」は、私たち人間が生きていく上で、欠かすことのできないもの。

私たちの成長は、地域とのつながり無くして成しえないもの。

それは、「地域のお客さまのライフラインとしての役割を担い、

安定した生活に貢献する」ということ。

そして私たちは、いつの時代も「エッセンシャルワーカー」として、

その使命を果たしてきました。

これからもこの使命を胸に、さらに新しい時代のスーパーマーケットを目指して。

マルエツは、この先も地域の持続可能な発展と、そこに住む皆さまの

健康で豊かな食生活に貢献する存在として、地域とともに成長していきます。

地域の「しあわせ」の、一番近くに。マルエツ

ブランドメッセージ しあわせいかづ。

「ふだんの暮らしの中で、ちょっぴり幸せな気持ちを感じていただきたい」という、マルエツがお客さまに伝えたい思いが詰まった言葉です。

経営理念

存在意義 私たちは、安全でおいしい商品の提供を通じて、健康で豊かな食生活に貢献します。

経営姿勢 私たちは、常に革新と挑戦を続け、公正で誠実な企業であり続けます。

行動規範 私たちは、地域のお客様に愛される、笑顔と活気あふれる店づくりを推進します。

お客さまへの約束

わたしたちが目指すもの お客さまの「笑顔のある食卓」を応援します。

わたしたちがお届けするもの お客さまに「新鮮な発見と感動」をお届けします。

わたしたちのこころ この街を愛し、「お客さまとの絆」を大切にします。

「シンボルマーク」について

「シンボルマーク」には、私たちがお客さまにお届けする、新鮮でいどり豊かな「食」のイメージを「魚や野菜に見える形」と「生命感あふれた色調」で表現するとともに、「マルエツ」の頭文字である「M」を表現しています。



「体験型スーパーマーケット」への進化を目指して

マルエツは、首都圏の1都5県に300店舗（2021年5月末現在）を展開する食品スーパーマーケットチェーンとして、「マルエツ」「マルエツ プチ」「リンコス」の屋号でお客さまをお迎えしています。

2020年は、新型コロナウイルスの世界的流行という未曾有の事態に見舞われ、新しい生活様式の定着やお客さまの購買行動が大きく変化しました。そのような状況下、私たちは防疫対策を最優先に、「お客さまへ食料品を確実にご提供し続ける」というライフラインとしての社会的使命を果たしてまいりました。そして、「私たちは、安全でおいしい商品の提供を通じて、健康で豊かな食生活に貢献します」という経営理念を掲げ、豊かな食生活をサポートする情報発信やメニューの想起につながる売場づくりに取り組んでいます。また、スマートフォン決済やセルフレジの導入をはじめとしたチェックアウトソリューションや、新しい価値やサービスを構築するために、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に取り組んでいます。あわせて、自然環境に配慮した商品やサービスの導入など、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを実践しています。これらの施策を通して、「鮮度」「商品との出会い」「ストレスゼロ」「繋がり」の4つの価値を提供する「体験型スーパーマーケット」への進化を目指しています。

1945年10月に埼玉県浦和市（現さいたま市）で魚の販売を中心とした「魚悦商店」として創業した当社は、2020年10月に75周年を迎えました。今後も日々努力を重ね、皆さまに愛され、地域になくしてはならない信頼される存在として、創業100周年を迎えられるよう、努めてまいります。

マルエツは、健康と食文化を担い、そしてSDGsの達成に貢献する企業として、地域と社会の持続可能な発展を目指してまいります。



代表取締役会長
上田 真



代表取締役社長
古瀬 良多



数字でみるマルエツ

※2021年2月末現在



創業

75周年



店舗数

300店舗

※2021年5月末現在(国内)



一日の来店客数

約610,000人



連結営業収益

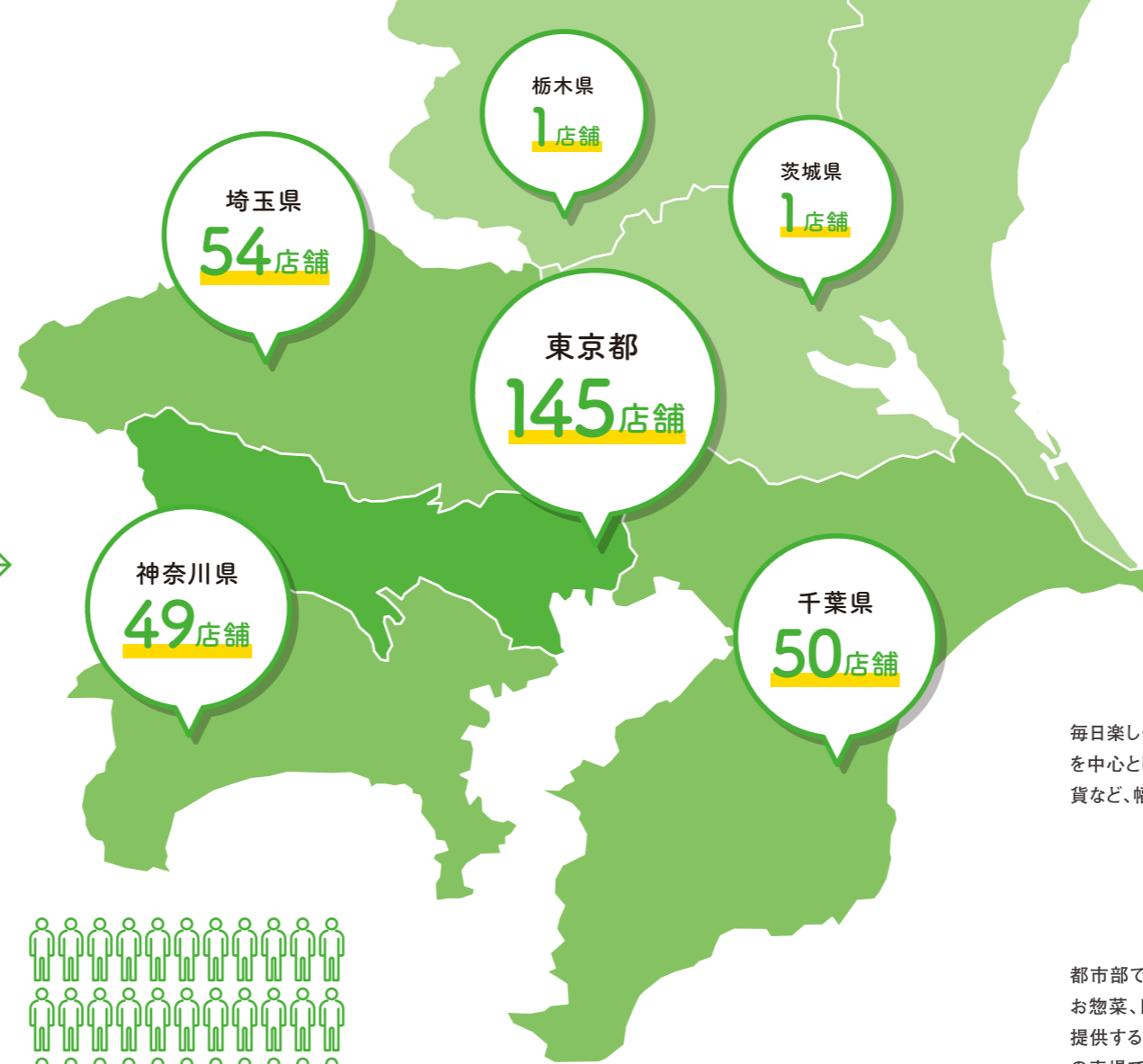
3,979億円



連結従業員数

16,503名

※パートタイマー12,358名を含む
(1日8時間換算による期中平均人員)



中国江蘇省無錫市(むしゃくし)に「リンコス」を2店舗展開

店舗業態



毎日楽しく便利にお買い物をしていただける、生鮮食品を中心としたスーパーマーケット。食料品のほか、日用雑貨など、幅広く品揃えています。



都市部で生活されるお客さまに生鮮食品やできたてのお惣菜、日用雑貨など、普段の生活に必要な商品をご提供する都市型スーパーマーケット。約40坪から150坪の売場で、都内を中心に展開しています。



居心地の良さと、ちょっと贅沢でおいしい価値ある商品を提供し、お客さまとコミュニケーションの輪でつながる上質スーパーマーケットです。



共同持株会社

U.S.M.Holdings

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社は、2015年3月に株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社

の経営統合により、共同持株会社として設立されました。お客さまのライフスタイルと食への期待が変化中、「感動を生む体験」として、①突き抜ける鮮度 ②商品との出会い ③エンリッチ、そして④「地域との繋がり」の創出、この4つの価値を提供できる新フォーマットを創造し、地域社会に欠かすことのできない存在へと進化すべく、取り組んでいます。



● 第2次中期経営計画の概要(2020-2022)

基本方針 デジタルを基盤とした構造改革を推進し、次代の礎を築く「あらゆる人に食を届ける」をめざして、協働と創発をくりかえす

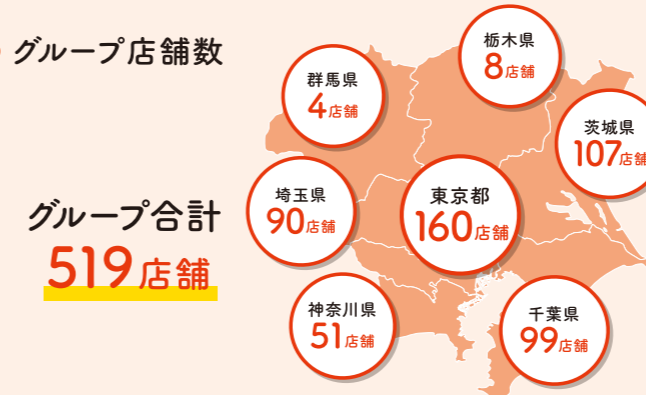


● 会社概要

社名/ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
代表者/代表取締役社長 藤田 元宏
本社所在地/東京都千代田区神田相生町1番地

設立/2015年3月2日
資本金/100億円
事業内容/スーパーマーケット事業の管理

● グループ店舗数



● グループ営業収益

	株式会社 マルエツ	株式会社 カスミ	マックスバリュ 関東 株式会社	累計
店舗数	300 店舗	187 店舗	32 店舗	519 店舗
営業 収益	3,979 億円	2,895 億円	467 億円	7,338 億円

※店舗数は2021年5月末現在
※営業収益は2021年2月期連結決算数値

新しい生活様式に 対応したサービス

常にお客さまに必要とされる企業であり続けるために、
私たちが何より大切にしていること。
それは、毎日ご来店いただく多くのお客さまおひとりおひとりにしっかり寄り添い、
心からご満足いただける商品やサービスをご提供することです。
より便利に、よりスピーディに、より楽しく。
私たちはいま、新しい“しあわせいかつ。”の実現に向け、
「人の力×デジタルの力」を駆使した新たな店舗づくりを進めています。



お客さま視点でのデジタル化を推進。

新しい生活様式の実践とデジタル化の推進により、ご来店いただくお客さまはもちろん、ご来店いただけないお客さまにも、より気軽にストレスゼロでお買い物をお楽しみいただける新たなサービスを展開しています。

広告

マルエツチラシアプリ

マルエツのお得なチラシ情報を、いつでも簡単にスマートフォンからチェックできる「マルエツチラシアプリ」。さらにログインすると、当社のポイントカードであるTカードのポイント確認やお買い物履歴、限定クーポンなどが利用できます。



来店客
(店舗で買い物)

情報発信

サイネージを活用した情報発信

当社オリジナル商品のご案内や旬の商品など、お客さまにとって価値ある情報をご提供する「サイネージサービス」を展開。これまで以上に楽しいお買い物体験をご提案しています。



非来店客
(ネットで注文)

ネットショッピング
(ギフト・予約商品
お取り寄せなど)

法人向け無人店舗
smart petit (スマートプチ)

昼食時などに外出を控える方や、オフィスへ出勤する従業員に対する福利厚生として、職場の一角で当社の商品がスマートフォン決済アプリ「Scan&Go」でご購入いただけるサービスです。

オンラインデリバリー
Online Delivery

店舗で取り扱う商品をスマートフォンアプリやパソコンからご注文いただき、ご自宅や配送エリア内のご指定先、もしくは店頭でお受け取りいただけるサービスです。店舗で取り扱う商品はもちろん、取り扱いの無い家電製品なども含め、豊富な品揃えで展開しています。

決済

通常レジ・セルフレジ

通常レジ、決済のみお客さまに行っていただくセミセルフレジのほか、商品登録から決済までの全てをお客さまに行っていただくフルセルフレジの導入を進めています。



スキャンアンドゴー
スマートフォン決済アプリ Scan&Go

お客さまが、商品登録からお買い物の支払いをご自身のスマートフォンで行うことができる決済機能アプリです。会計の際にレジに並ぶことなく、スムーズなお買い物が可能となります。



電子マネー・二次元コード決済

電子マネーや、二次元コード決済などのキャッシュレス決済サービスに対応。より便利で安全・安心なお買い物を実現しています。

マルエツカード

各種クレジットカードのほか、「マルエツカード」がご利用いただけます。「マルエツカード」は、マルエツでのお買い物がさらにお得に便利になる、電子マネー「WAON」一体型のクレジットカードです。



受け取り

持ち帰り



らくらくクマさん宅配便

店舗でお買い上げいただいた商品を3時間以内にご自宅へ配達する「らくらくクマさん宅配便」(有料)を展開。お客さまの「まとめ買いをしたいが持って帰ることができない」「買い物帰りに他の用事も済ませたい」「もっと気軽に宅配便を利用したい」などのニーズに対応しています。

自宅受け取り (店舗・ネット)



無人ピックアップルーム

店舗へ入店することなく商品をお受け取りいただけるサービスを展開。入室時は、スマートフォンを利用したセキュリティキーを使用。非接触で安全・安心なお買い物が可能です。



ドライブスルー

ドライブスルー受取専用駐車場で商品をお渡しするサービス。指定日時に商品が受け取れるため、配達を待つ必要がなく、密を避けた新たな生活様式にも対応します。



BOPIS (Buy Online Pickup In-Store: ネットで購入・店舗で受け取り)

生き生きと取り組める教育体制と、多様な人材が活躍できる職場づくり

いい職場づくりは、いい人づくりから。

マルエツの人材育成は「お客さまが今、何を必要としているのか」「自分はお客さまのために何ができるのか」を感じ、考えることから始まります。様々な研修を通し、自ら考え行動できる人材を育成しています。



可能性を最大限に引き出すキャリアサポート体制

入社後のオリエンテーション研修や、教育センターで行うOff-JT(オフ・ザ・ジョブ・トレーニング)での集合研修、2~5年次フォロー研修、スキルアップのための多数の研修など、マルエツでは生き生きとやりがいを持って取り組める教育体制で、一人ひとりのキャリア形成をサポートしています。現在は、オンラインによるリモート研修、eラーニングを活用した自己啓発を積極的に行っています。

社内資格	J	L	S1	S2	M
役職	新入社員~一般社員 パートナー・クルー	営業マネジャー・マネジャー	店長代行		課長 部長 店長
職位別研修	年次研修 所属別研修	店管理職アセスメント 新任マネジャー研修	昇格者研修 M昇格アセスメント 専門職育成 新任店長代行研修		M昇格者研修 国内・海外流通視察 新任店長研修 U.S.M.H戦略リーダー育成プログラム
自己啓発等		グリーター接客レベル認定		商品知識検定	公的資格取得研修

スキルを高める認定制度

商品知識検定

所属部署にかかわらず、全従業員が店舗で扱う商品の様々な知識を習得し、お客さまのお買い物をお手伝いできるよう、定期的に商品知識検定を実施しています。より多くの知識の習得がマルエツのファンづくりにつながっています。



グリーター接客レベル認定

挨拶、歓迎という意味を込め、レジ担当者を「グリーター」と呼んでいます。接客レベル向上施策として、グリーターを対象に厳正な筆記・実技テストを経て認定される「グリーター五ツ星」という社内認定制度を設けています。



五ツ星バッジ

女性活躍の推進

ダイバーシティ推進室では、女性はもちろん当社で働く全ての従業員がさらに活躍の場を広げられるように、職場環境や働き方の改善などに取り組んでいます。当社の未来を担う若手社員を対象に、向上心や意欲を養う場として「きらめき未来セミナー」を開催し、利用できる人事制度などについても理解を深めています。

女性管理職 **29名**
(女性管理職比率7.2%)
(2021年5月末現在)

厚生労働大臣「えるばし認定」2段階目取得



救命技能認定者を店舗に配置

急な店内事故やお客さまの体調不良の際、落ち着いて適切な初期対応ができるよう、消防本部・消防署で実施される「普通救命講習」に積極的に参加し、「救命技能検定」の資格取得に取り組んでいます。現在、店管理職を中心に約500名の救命技能認定者が活躍。2019年には豊島消防署から推進団体であるとして、感謝状をいただきました。

救命技能認定者 **約500名**
(2021年2月末現在)



ライフイベントに合わせた働き方を促進

従業員がやりがいや意欲を持って働き続けるためには、「仕事」と「私生活」の調和が欠かせません。当社では従業員一人ひとりのライフイベントに合わせて働き方が選択できる制度があります。また、出産や子育てを支援し、仕事と両立しながら働ける制度を整えています。これらの制度を通して、より幅広いフィールドで生き生きと働き続けられる環境づくりを推進しています。

主な子育て支援制度

- ・妊娠中の時短勤務
- ・産前・産後休暇
- ・育児休暇
- ・育児時短勤務

主な休暇制度等

- ・半日有給休暇
- ・有給特別休暇
- ・リフレッシュ休暇
- ・傷病・介護有給休暇
- ・介護時短制度

多様な人材を活かします 創業75周年事業

1945年の創業から2020年で75周年を迎え、当社がさらに輝き続けるために、様々な取り組みを進めています。

「100年委員会」の新設

2045年10月に迎える創業100周年に向け、全従業員が今後の当社について、自由な発想や様々な切り口で想いを発信する場、様々な取り組みを通して当社へのロイヤリティを高める場として、「100年委員会」を新設しました。この活動により多様性が発揮できる会社を目指します。

65歳以降の継続雇用制度

店長、エアラストアマネジャーとして65歳以降も継続して働くことができる制度です。

制服の変更

創業75周年を機に、制服を刷新しました。





社会課題の解決へ向けた取り組み

サステナビリティ

マルエツが考えるサステナビリティ

マルエツは、地域に根ざした食品スーパーマーケットとしてお客さまに育まれてきました。そして、これからも地域のために。未来のために。私たちは、SDGsへの取り組みを通して、豊かな地域社会を共創することで、私たちの住む地域と、マルエツの持続可能な発展を目指しています。

SDGsとは

2015年9月の国連サミットにおいて、国連に加盟する全ての国が、2015年から2030年までに、持続可能な開発のための目標を達成すべく力を尽くすことを約束した国際行動計画「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)」を採択。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などの17の開発目標から構成され、その達成のために企業の積極的な参加が期待されています。



サステナブルな社会の実現につながる商品づくりへの取り組み



生物多様性に配慮した商品の積極的な展開により、地球環境の保全に寄与し持続可能な社会の実現を目指します。

植物工場野菜

U.S.M.Holdingsではスタートアップ企業との協業により、完全閉鎖環境下で生育を科学的にコントロールしながら野菜の栽培を行い、製造から販売まで一貫したサプライチェーンを構築する取り組みを進めています。植物工場で生産した野菜は独自のブランド「Green Growers (グリーン growers)」として展開。食の安全と鮮度にこだわりながら、「新しい農業の形」を創造することで、多様化するお客さまのニーズにお応えし、サステナブルな世界の実現に貢献していきます。



プラントベース

世界人口の増加による食糧需給問題への対応として、大量の穀物を必要とする食肉に代わる代替肉を「Plant Based (プラントベース)」コーナーで販売しています。精肉では、大豆由来の食品「大豆ミート」商品、デリカでは「大豆ミート」を使用した当社オリジナルのバーガーやお弁当などを品揃えています。



昆虫食

「昆虫食」は生産性が高く、効率的にタンパク質を摂取できる食品として世界的にも注目されています。当社でも、コオロギのパウダーを使ったせんべいをはじめ、関連商品を揃えています。



MSC認証商品

水産資源と環境に配慮し適切に管理された、持続可能な漁業で獲られた天然の水産物に与えられる「MSC認証」(海のエコラベル)商品を展開しています。



社会課題の解決につながる認証商品

開発途上国の農産物や製品などを公正な価格で継続的に輸入することで、生産者や労働者の生活改善や自立を目指す「フェアトレード認証」商品や、製品または原料が、社会・経済・環境の持続可能性の強化につながる手法を用いて生産されたことを認証する「レインフォレスト・アライアンス認証」商品などを揃えています。



レインフォレスト・アライアンス認証コーヒー豆を100%使用したU.S.M.Hのプライベートブランド「eatime (イータイム)」のコーヒー

社会貢献への取り組み



地域の
皆さまの笑顔の
ために！

写真提供：認定NPO法人全国子ども食堂
支援センター・むすびえ

マルエツは、地域社会の持続可能な発展に貢献するため、
お客さまとともに、社会貢献活動を積極的に推進しています。

健康で
豊かな
暮らしを

お客さまとともに 「子ども食堂」を応援

未来を担う子どもたちの健やかな成長と、地域の活性化
及び持続可能な発展に向けた取り組みとして、全店に
「子ども食堂」応援募金箱を設置し、お客さまとともに「子
ども食堂」を応援しています。毎月、店頭募金箱にてお
預かりしたお客さまからの善意と同等額を当社からも拠
出し、「子ども食堂」を支えているネットワーク団体（中間
支援団体）の活動を支える「認定NPO法人全国子ども
食堂支援センター・むすびえ」を通して、当社が出店する
地域の「子ども食堂」へお届けしています。



写真提供：認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ

株式会社Tポイント・ジャパンが主催・運営する
共通ポイント「Tポイント」で「子ども食堂」の
支援ができる「Tポイント」募金も実施しています。

Tサイト(Tポイント募金)
マルエツ×むすびえ「子ども食堂」応援募金



フードバンクとの連携

一部店舗では、お客さまのご協力のもと、ご家庭で眠って
いる食料品を店舗へお寄せいただき、支援を必要としてい
る施設や団体、ご家庭に届ける活動を行うフードバンク団
体等へ寄付する「フードドライブ」に取り組んでいます。また、
外箱の破損等の理由から店舗での販売が困難な商品
のうち、未開封かつ賞味期限内の食料品を同様に寄付し、
地域社会の課題解決や食品ロス削減に貢献しています。



船橋三山店に設置の常設型食品寄付ボックス

フードドライブ実施店舗 (2021年7月末現在)

エリア	店舗	連携する団体
埼玉県さいたま市、蕨市	ナリア武蔵浦和店、蕨店	特定非営利活動法人フードバンク埼玉
神奈川県川崎市高津区	子母口店、第三京浜川崎インター坂戸店	フードバンクかわさき
東京都大田区	かまた店、新糞谷店	社会福祉法人大田区社会福祉協議会
千葉県船橋市	金杉店、下総中山店、船橋三山店	特定非営利活動法人(NPO法人)フードバンクふなばし

健康で
豊かな
暮らしを

くらし方録(カタログ)の発行

店頭で気軽に手に取っていただけるフリーペーパーで、
料理提案や旬の情報、レシピ、生活情報、当社のおすす
め商品など、お客さまの暮らしに役立つ情報を毎月ご紹
介しています。1984年の創刊より、多くのお客さまからご
好評をいただいています。



健康で
豊かな
暮らしを

「体験型ステーションMeet!」 を導入

新しい商品・価値・未来に出会う場所として、船橋三山
店に「体験型ステーションMeet!」を設置しています。
様々なメーカーや、スタートアップ企業などが提案する、
新しいアイデアや最先端の製品などを展示し、タブレット
や二次元コードで詳細情報の確認や購入までご案内。
お客さまに新しい発見と感動をお届けします。



食育と
交流の場
づくり

料理&カルチャー教室 「いーとぴあ」を運営

「お客さまの笑顔のある食卓」を応援するため、「食」と
「暮らし」を豊かにする情報発信と実践の場として、埼玉
県蕨市で「いーとぴあ」を運営しています。パン・お菓子・
料理講座のほか、当社の管理栄養士・栄養士が講師を
務める子ども料理教室「キッズクッキング」では、子ども
たちの食育をサポートしています。また、日本栄養士会の
「認定栄養ケア・ステーション」として、地域の皆さまの
健康をサポートさせていただく拠点にもなっており、健康
セミナーや栄養相談を定期的に行っています。

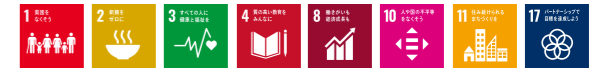


健康で
豊かな
暮らしを

「キッチンいーとぴあ」で お客さまとのつながり創出

「キッチンいーとぴあ」を16店舗に設置し、売場の商品
で毎日の食卓や健康のヒントになるメニューのご提案、
店舗ごとにオススメの商品や旬・話題の商品、便利な
調理家電やグッズのご紹介など、お客さまにトータルで
「食の豊かさ」を楽しんでいただける場をご提供してい
ます。お客さまに寄り添った、双方向コミュニケーションと
体験により、つながりを創出します。





社会福祉の充実を目指して

飲料自動販売機 売上金の1%を寄付

2008年度より、全店舗の店頭及び店内に設置している飲料自動販売機の売上金1%相当額を、店舗が所在する地域の社会福祉協議会等を通して介護・養護施設へ寄付する活動を行っています。これまでに車いすの購入や、施設内への手すりの設置などにお役立ていただいています。

累計寄付額 **4,187万円**
(2021年2月末現在)



ペットボトルキャップ回収で ワクチン寄贈

お客さまのご協力のもと、店頭で回収したペットボトルキャップをリサイクル資源として売却し、その売却益を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)へ寄付しています。JCVを通して、ポリオワクチンをはじめ各種ワクチンとなり、世界の国々へ贈られています。世界の子どもたちが健康で豊かに暮らせる環境づくりに貢献しています。



写真提供: 認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

雇用機会の創出

だれもが安心して働ける職場環境

だれもが生き生きと働ける雇用機会の創出と職場環境の整備に積極的に取り組んでいます。多数のシニアの方が今までの経験を活かせる雇用制度を活用し、活躍しています。また、ベトナムからの技能実習生をはじめ、マルエツグループ全体で外国人の採用を推進しています。障がい者雇用では、当社の特例子会社「株式会社マーノ」を通して、事務代行や店舗での商品陳列など、様々な場面で活躍の場を広げています。

障がい者雇用率 **2.98%**
(2021年2月末現在)



全ての
お客さまに
快適なお買い物
体験を

盲導犬育成事業の支援

1993年より「盲導犬育成募金活動」を実施し、お客さまからお預かりした募金は「公益財団法人日本盲導犬協会」へ寄付しています。お客さまのご協力のもと、これまでの累計寄付額は3億円を超えました。今後も盲導犬ユーザーの方々を含め、ご来店される全てのお客さまに気持ちよくお買い物をしていただける店づくりを目指します。

累計寄付額 **3億2千万円**
(2021年2月末現在)



写真提供: 公益財団法人日本盲導犬協会

サービス介助士*を店舗に配置

「サービス介助士」の資格取得に積極的に取り組んでいます。ご高齢の方や障がいのある方のお買い物を手伝う際の「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、全てのお客さまに安心してお買い物をいただくために、各店舗で活躍しています。

※「サービス介助士」は、公益財団法人日本ケアフィット共育機構が認定する資格です。

サービス介助士 約 **1,000名**
(2021年2月末現在)



店長への直行便

1996年より全店に設置して以来、お客さまからいただいた貴重なご意見、ご要望には3日以内に店長よりお返事しています。お客さまからのご意見を全社で共有し、経営に活かすとともに、よりよい店づくりにつなげています。



環境への取り組み



お客さまに笑顔になっていただくための商品やサービスの多くは、豊かな自然が育ててくれるもの。
 私たちは、地域社会を支えるサステナブルな事業活動の実現に向け、お客さまとともに地球環境を守る取り組みを続けています。

マルエツ環境方針

マルエツは地域に密着したスーパーマーケットとして、
 安全で安心な商品やサービスの提供とともに持続可能な循環型社会を目指し、
 お客さまと共に環境保全活動や地域の環境活動への支援を推進します。

1. 当社の事業活動に伴う環境負荷を最小限にするために、環境目標の設定・推進を含め、環境マネジメントシステムを運用し継続的に改善します。
 - ① 電気使用量削減等の省エネルギー・省資源を推進します。
 - ② 最終的な廃棄物を削減するために3R[リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)]を推進します。
 - ③ 地球温暖化防止のため、1店舗あたりのCO₂排出量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した商品の普及に取り組みます。
2. 環境保護のため汚染の予防や生態系の保護に努めるとともに、環境に関する適用可能な法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. この方針を全従業員に周知徹底し、従業員一人ひとりが主体的に環境保全活動に取り組みます。
4. この方針を社内外に公表し、積極的な情報提供に努めます。

株式会社マルエツ
 代表取締役社長 古瀬 良多

「ISO14001」の取り組みを推進

環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格である「ISO14001」の認証を、2006年9月に本社及び5店舗において取得し、現在の認証事業所数は294事業所(本社含む)となっています。



太陽光発電・EV充電スタンドの導入

船橋三山店では、店舗の屋上に太陽光発電設備を設置し、その電力を店舗の営業活動で自産自消しています。電力コストの削減に貢献するほか、災害時停電の非常用電源としても活用できます。また、近年の電気自動車増加に伴い、お客さま用の駐車場に電気自動車(EV)用の急速充電スタンドを設置しています。お買い物中に急速充電いただけるなど、インフラサービスの一環のほか、環境負荷の低減に貢献しています。



リサイクル活動の推進

再生可能資源の回収を推進するため、店頭で食品トレイや紙パックなどのリサイクルボックスを設置しています。紙パックについては、一部店舗でアルミ蒸着加工の紙パック製品も回収対象としているのが特徴です。



地域社会と協力してリサイクルを推進



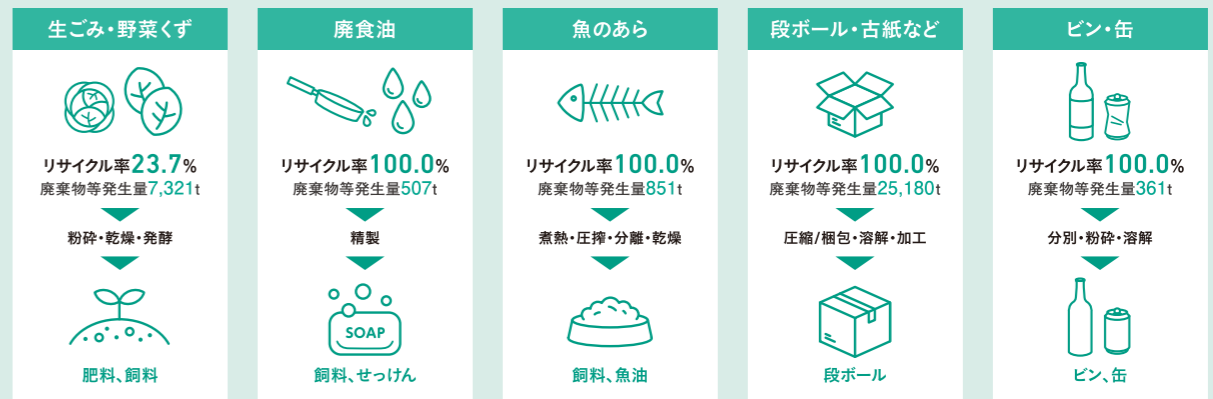
店頭で回収した資源のリサイクル

貴重な資源の再生利用は、資源やエネルギーの節約、CO₂排出量削減など地球温暖化防止につながっていきます。当社では、店頭で食品トレイ、紙パックなどの回収ボックスを設置し、リサイクル活動を推進しています。



店舗からの廃棄物をリサイクル

店舗から発生する食品廃棄物の抑制と減量化を一層強化し、循環型社会の実現に貢献するため、廃棄物のリサイクル化も進めています。



※2019年度実績

環境会計はこちら



廃棄物の「見える化」で従業員の削減意識を向上

廃棄物の排出量削減の第一歩は、どんなごみをどれだけ排出しているかを把握することです。当社では、廃棄物計量管理システムをマルエツ屋号店舗を中心に導入し、廃棄物排出量の「見える化」促進に取り組んでいます。自分が計量し、排出量の数値を可視化することで、従業員一人ひとりが廃棄物の削減意識を高めています。





環境保全活動への支援

自然環境、生物多様性の保全を推進するべく、2020年度より環境保全団体への寄付を行っています。寄付を通して、海洋プラスチックごみ問題等の改善や環境保全活動にお役立ていただいています。

寄付先

- ◆一般社団法人JEAN (ジーン)
JEANは、海洋ごみ問題を解決して、ごみのない健やかで美しい海を未来に残すために、1990年から活動を行っている非営利の環境NGOです。
- ◆公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン (WWFジャパン)
当社は2020年4月より、WWFジャパンの法人会員として、WWFの環境保全活動を応援しています。WWFは、100カ国以上で活動している環境保全団体です。そのプロジェクトは会費や寄付等の支援金で支えられています。



「マルエツの森」森林保全ボランティア活動

2010年より、埼玉県森林・保全事業である「武蔵野の森再生事業」に参加しています。埼玉県日高市横手にある「マルエツの森」では、2010年に山桜やかえで等を植樹後、保全活動として毎年従業員ボランティアによる下草刈りを実施しています。地域の環境を守り、温室効果ガス削減に向け、活動を継続していきます。



荒川クリーンエイド活動

荒川クリーンエイドは、荒川河川敷の様々な場所でごみを拾いながら、河川ごみや水質、自然回復等の問題を考え、豊かな自然を取り戻そうとする活動です。当社では、環境教育の一環として、さらに、役割分担と他者への働きかけを学ぶ目的で、新入社員全員が参加しています。



寄付実績 (2020~2021年分)

サステナブルな社会の実現を目指すため、社会貢献活動や環境保全活動への支援を積極的に行っています。

主な寄付内容	期間	寄付金額	寄付先
盲導犬育成募金寄付	2020年3月~2021年2月の店頭募金額	12,565,099円	公益財団法人日本盲導犬協会
「子ども食堂」支援寄付	2020年7月31日(寄付日)	1,000,000円	認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ
「子ども食堂」応援募金寄付	2020年9月~2021年2月の店頭募金及び当社からの拠出金	19,745,000円	認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ
飲料自動販売機売上金1%寄付	2020年3月~2021年2月の飲料自販機の売上金1%相当額	2,900,000円	各地域の社会福祉協議会
ペットボトルキャップ回収売却益寄付	2020年3月~2021年2月回収分の売却益	1,044,290円	認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)
環境保全活動支援寄付	2021年3月31日(寄付日)	1,000,000円	一般社団法人JEAN (ジーン)
		1,000,000円	公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン (WWFジャパン)
ウナギ資源保護活動寄付	2021年7月23日~28日に販売したウナギ製品の売上金から1点につき10円を拠出	2,430,400円	鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会

グループ企業



株式会社マルエツフレッシュフーズ



「きれいな商品づくり」を目指しながら「生産性の向上」を図り、安全・安心な商品を安定的・継続的にローコストで供給してまいります。

事業内容: 生鮮加工センターにおける食料品の製造、加工業務
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 2010年4月
代表者: 代表取締役社長 安田 良夫



株式会社マーノ



“障がいと向き合いながら、生き生きと働く従業員があふれる”会社を目指しています。

事業内容: 業務受託事業、事務サービスの代行を行う特例子会社
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 1992年3月
代表者: 代表取締役社長 福田 保



株式会社マルエツ開発

事業内容: 不動産管理、店舗・ショッピングセンター開発業務
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 1989年4月
代表者: 代表取締役社長 川田 猛敏



株式会社アスビズサポート

事業内容: 労働者派遣事業、業務受託事業
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 2017年3月
代表者: 代表取締役社長 渡邊 昌夫

株式会社食品品質管理センター

事業内容: 食品の品質・安全・衛生検査の受託等
本社所在地: 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
設立年月: 2010年7月
代表者: 代表取締役社長 佐々木 裕一

株式会社日本流通未来教育センター

事業内容: スーパーマーケットに特化した教育事業
本社所在地: 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号
設立年月: 2002年10月
代表者: 代表取締役社長 中村 孝

丸悦(香港)有限公司

事業内容: 中国において小売業を営む
「丸悦(無錫)商貿有限公司」の持株会社
本社所在地: 中国 香港
設立年月: 2012年8月
董事長総経理: 石井 英雅

丸悦(無錫)商貿有限公司

事業内容: 中国における小売業(スーパーマーケット)の経営
本社所在地: 中国 江蘇省無錫市
設立年月: 2013年1月
董事長総経理: 石井 英雅

沿革



- 1945 魚悦商店を埼玉県浦和市(現さいたま市)にて創業
- 1952 有限会社魚悦商店設立
- 1959 有限会社丸悦ストアに商号変更
- 1965 セルフサービスの食品スーパーマーケット1号店「大宮店」開店
- 1970 東京都に進出 / 株式会社丸悦ストアに組織変更
- 1974 株式会社マルエツに商号変更
- 1975 埼玉県大宮市(現さいたま市)に、大宮物流センターを開設
- 1976 千葉県に進出
- 1977 食品スーパーマーケットで初めて東京証券取引所市場第二部に上場
- 1978 株式会社プリマートと合併し、首都圏で100店舗を超える
- 1979 消費者モニター制度導入
- 1981 サンデーマーケット株式会社の株式取得
株式会社サンコーと合併
- 1984 東京・大阪両証券取引所市場第一部へ指定替え
- 1986 POSシステム導入開始
- 1989 本社を東京都豊島区東池袋に移転
- 1991 健康と食文化実践室「いーとびあ」開設 **CSR**
- 1993 盲導犬育成募金開始 **CSR**
- 1995 緑化資金導入 **CSR**
- 1996 お客さまの声を反映する「店長への直行便」導入 **CSR**
- 1999 平成11年度「消費者志向優良企業通商産業大臣表彰」受賞
- 2000 平成12年度 障害者雇用優良事業所及び優秀勤労者表彰式において「労働大臣表彰」受賞 **CSR**
- 2001 株式会社すえひろと業務・資本提携
- 2002 株式会社ポロロッカ株式取得
株式会社日本流通未来教育センター設立
マルエツ200店舗達成
- 2003 サンデーマーケット株式会社と株式会社すえひろが合併
- 2004 盲導犬育成募金累計1億円突破 **CSR**
- 2005 第4回「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」受賞 **CSR**
- 2006 新経営理念制定
ISO14001認証取得(本社及び5店舗) **CSR**
- 2007 新シンボルマーク、ブランド理念を制定
イオン株式会社、丸紅株式会社と業務提携
サンデーマーケット株式会社・株式会社ポロロッカと合併

- 2009 株主優待制度新設
ISO14001認証取得(全社及び全店) **CSR**
厚生労働省「障害者雇用優良企業」認証取得 **CSR**
- 2010 マルエツ・マルエツ プチ・リンコスの3つに店舗屋号を統合
常温物流センター開設(横浜、八潮)
川崎複合センター開設
- 2011 マルエツ プチ50店舗達成
東日本大震災被災地復興に向けた支援の取り組み **CSR**
- 2012 盲導犬育成募金累計2億円突破 **CSR**
三郷複合センター開設
中国出店に向けて蘇寧電器集团股份有限公司と合弁会社を設立
- 2013 ISO22000認証取得(川崎、三郷複合センター)
水産庁「魚の国のしあわせ大賞」実証事業部門最優秀賞受賞
中国1号店となる「リンコス無錫蘇寧プラザ店」開店
- 2014 「首都圏におけるスーパーマーケット連合」の創設に関する合意(基本合意書締結)
中国2号店「リンコス無錫海岸城店」開店
「ウナギ資源保護活動」への支援開始 **CSR**
東京証券取引所市場第一部を上場廃止
- 2015 株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社が経営統合し、共同持株会社「ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社」を設立
同社は、東京証券取引所市場第一部に上場
「第5回カーボン・オフセット大賞」奨励賞受賞 **CSR**
「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」支援賞受賞 **CSR**
- 2016 東和ベーカリー・デリカセンター開設
- 2017 株式会社アスビズサポート設立
「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞2度目の受賞 **CSR**
- 2018 女性活躍推進法「えるぼし」の2段階目を取得 **CSR**
「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞2年連続3度目の受賞 **CSR**
- 2019 盲導犬育成募金累計3億円突破 **CSR**
マルエツカード発行
「東北地域カーボン・オフセットグランプリ」東北支援賞3年連続4度目の受賞 **CSR**
- 2020 創業75周年
マルエツ300店舗達成
- 2021 法人向け無人店舗「スマート プチ」展開開始

会社概要

会社名	株式会社 マルエツ
本社所在地	〒170-8401 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
代表電話番号	03-3590-1110
代表者	代表取締役会長 上田 真 代表取締役社長 古瀬 良多
創業	1945年(昭和20年)10月
設立	1952年(昭和27年)6月16日
資本金	1億円
店舗数	300店舗(2021年5月末現在)
従業員数(連結)	16,503名 パートタイマー12,358名を含む ※1日8時間換算による期中平均人員 ※2021年2月末現在

物流体制



八潮常温物流センター
(埼玉県八潮市)



横浜常温物流センター
(神奈川県横浜市)



三郷複合センター
(埼玉県三郷市)



川崎複合センター
(神奈川県川崎市)

300店舗を支える当社の物流・生鮮加工センターは、2つの常温物流センター、小型店物流センターと、生鮮加工・低温商品を扱う低温物流体制(コールドチェーン)を確立した2つの複合センターを配置しています。また、都心店を中心にベーカリー・デリカセンターの配置や、サテライトによる供給体制を確立しています。

商品別売上高構成比(単体)

※2021年2月期

